

## 京都式自殺対策～①寄り添い型のワンストップ支援

### 「京都府自殺ストップセンター」の機能強化

- 相談から問題解決に至るまでワンストップで寄り添い支援を実施
- 経験豊かな人材を配置  
(例) 精神保健福祉士  
臨床心理士  
精神科医  
保健師 等

7

## 京都式自殺対策～②「オール京都」での仕組みづくり

「自殺ストップセンター」を核に専門支援機関や行政をつなぐネットワークをオール京都体制で構築

### 「京のいのちを支えるネットワーク」(仮称)設立

京都地域包括ケア推進機構、京都ジョブパーク、消費生活安全センター、医師会、弁護士会、いのちの電話等の専門機関や行政、NPO等が連携して支援

〈これまでの「オール京都」での取組み例〉

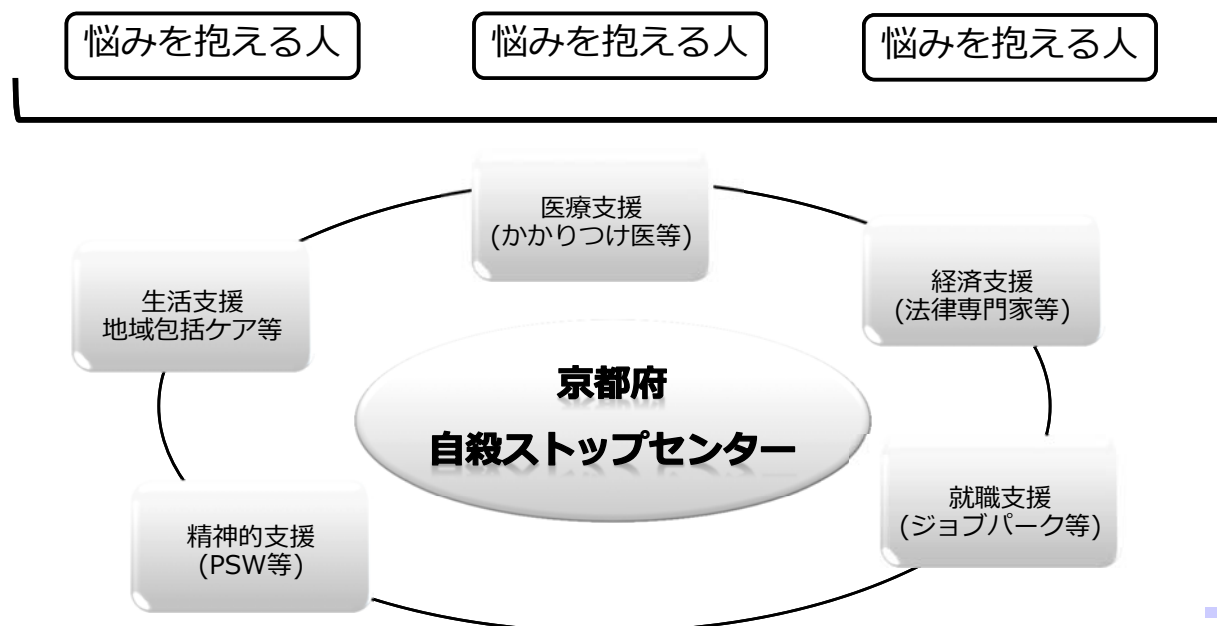
「京都ジョブパーク」を設置(平成19年4月)

「京都地域包括ケア推進機構」を設立(平成23年6月) 等

8

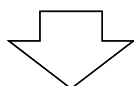
## 「京のいのちを支えるネットワーク」のイメージ図

死にたいほどの・・・



## 京都式自殺対策～③一人ひとりに応じたきめ細かな支援

- 身近なところで悩みを抱える人を支える  
「ゲートキーパー」養成事業を展開



**今後3年間で1万人養成**

- さらに日頃からの「健康づくり」を充実  
ICTを活用した健康管理システム「すこやか健康管理情報システム」の構築や、身近な専門家(栄養士、保健師等)によるカウンセリング指導など、「新しいタイプの健康づくり」に着手

## 京都式自殺対策～④地域課題に対応したモデル事業の展開

- 地域課題に対応したモデル事業を実施

モデル実施地域 京都府丹後医療圏

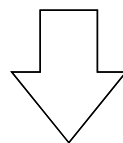
(宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町)

- モデル事業展開例

寺社等を活用した**居場所カフェ**の設置、  
警察・消防と連携した**自殺未遂者対策**、  
自死遺族への支援 等

## 「自殺対策条例」の制定

- 自殺問題を地域社会の課題として取り組む  
気運の醸成
- 府民運動の展開
- ゲートキーパーの養成等



都道府県初となる  
「自殺対策条例」の制定を目指す



# 国に対する要望

---

## 地方へのさらなる財政支援

- 地方の取組みを財政的に支援するための「自殺対策基金」は極めて有効であり、継続・拡充
- ゲートキーパー等人材の育成支援

## 統計データの開示

- 地域単位での効果的な対策を進めていくためにも、市区町村レベルのより詳細な警察統計データの開示を求める。

